

【地域に還元チャレンジ助成金・市民活動助成金の見直しについて】

現 行

	地域に還元チャレンジ助成金 (団体助成)	市民活動助成金	
		ひろげる部門 (団体助成)	つなげる部門 (事業助成)
ねらい	生涯学習や趣味的な活動から公益活動への意向を促す	団体の強化や会員拡大、活動の活性化	先駆性・創造性があり、協働提案事業化制度等へとつながる新たな事業支援
助成金額	上限5万円 5件 (25万円)	上限10万円 2件 (20万円)	上限20万円 3件 (60万円)
活動年数	制限なし	設立5年未満の場合はチャレンジ助成金から	設立5年未満の場合はチャレンジ助成金から
回数	2回 (いずれも100%)	1回目 (80%) 2回目 (70%) 3回目 (60%)	1回目 (80%) 2回目 (70%) 3回目 (60%)
対象経費	設立または活動準備に要する費用 団体の運営に要する費用	団体の運営に要する費用	補助対象事業の実施に要する費用
対象外経費	人件費		

改 正 (案)

	市民活動助成金	
	団体助成	事業助成
ねらい	生涯学習や趣味的な活動から公益活動への意向を促す 団体の強化や会員拡大、活動の活性化	公益性の高い新たな事業支援
助成金額	上限5万円 9件 (45万円)	上限15万円 4件 (60万円)
活動年数	設立10年未満	制限なし
回数	4回 (いずれも100%)	3回 (いずれも80%)
対象経費	設立または活動準備に要する費用 団体の運営に要する費用	補助対象事業の実施に要する費用
対象外経費	人件費	

【その他見直しポイント】

- ・適切な予算執行を担保するため、審査のボーダーを設けて助成金の可否を決定したり、予算を超える場合は審査によって足切りする。
- ・申請書類の簡略化や、何かしらの特典（例えば、年1回公共施設利用の減免）を検討する。